

子どもの医療費助成、学校・保育園



柏木朋子さん（猪方）と生後3カ月のお子さん（多摩川の土手にて）

矢野前市長は財政確立とともに、市民の切実な願いの実現にもとりくみ、子どもの医療費無料化の拡大や

保育園の待機児解消、特養ホームの増設、学校・保育園の耐震化、産業振興など大きく前進させてきました。

市民の切実な願いを着実に実現

日本共産党市議団はひきつづき、みなさんと力をあわせて、市民の願いの実現と財政の確立に全力でがんばります。ご支援よおしく願います。

高橋市長は矢野前市長が財政を悪化させたと言っています。が、狛江市の財政悪化の原因は、16年前の石井市長時代の莫大な借金と国の三位一体改革による地方財源の大幅カットです。このことを直視し教訓とし



角田益雄さん
（税理士・東野川）

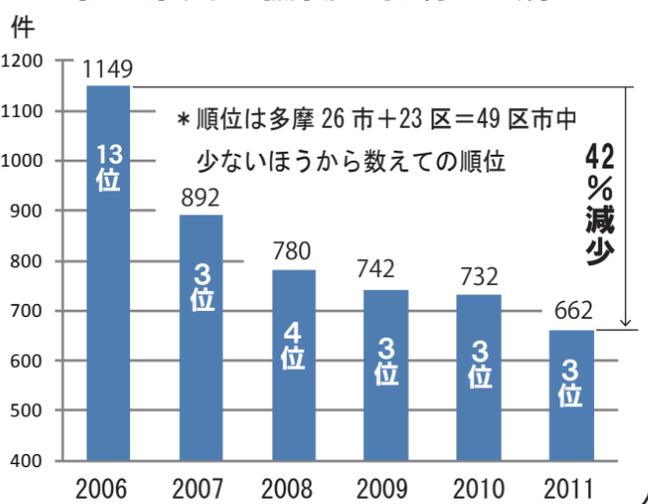
矢野市政がすすめた財政運営大切に

小中学校の耐震工事が完了 保育園は2015年度完了予定

小学校の耐震工事は2010年度に完了。
中学校の耐震工事は今年9月完了しました。
保育園は藤塚保育園が完了、
現在駒井保育園の改築工事を
行っています。



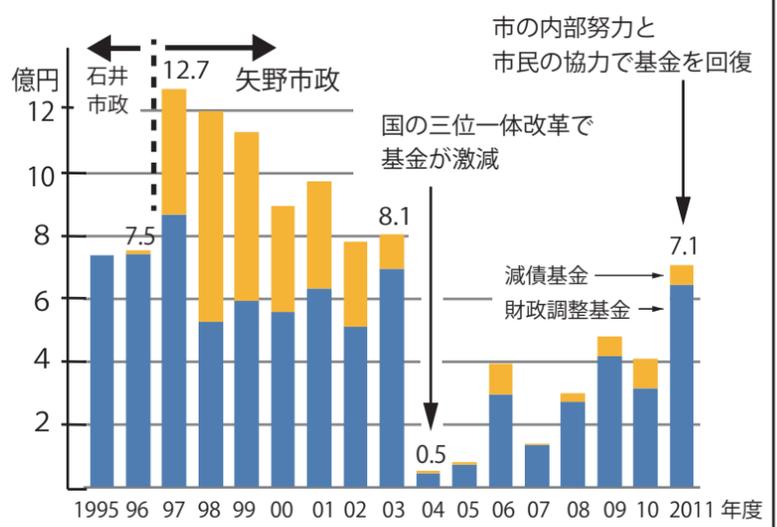
市と市民の協働で犯罪が減少



なければなりません。同時に地方自治体の役割は住民の福祉の増進です。今後の財政運営では、矢野

前市長がすすめてきたように、財政の確立と市民要望の実現を両立させることが大切だと思います。

財政調整金+減債基金の推移 グラフ⑤



財政調整基金など7億円余に回復

毎年の予算編成を安定的に行うための財政調整基金と借金の返済に活用する減債基金の合計は、小泉内閣の三位一体改革で2004年度に5400万円まで激減しました。しかしその後、矢野市長（当時）を先頭に財政確

立の努力を行った結果、2011年度は約7億円まで回復（グラフ⑤）。今年9月の補正で高橋市長が臨財債を減らさなければ、財政調整基金は8億円を超え、三位一体改革前の水準を取り戻すことができました。ただ狛江市の財政規模からすると、財政調整基金の望ましい額は約15億円とされています。財政安定化のためには引き続き積み立ての努力が求められます。

臨時財政対策債は実質的な交付税 活用してこそ市民サービス充実できる

高橋市長は選挙中、臨財債30%（約4億円）カットを主張しました。しかし臨財債は形の上では市の借金になりますが、その返済は全額国が保障する実質的な交付税です。削減すればその分、市民の施策が後退します。狛江市と財政構造が似ている東大和、清瀬、武蔵村山、稲城、あきる野の各市も臨財債を全額活用して予算を編成しています。

総務省も「臨時財政対策債の増発によって各地方公共団体の財政の健全性が損なわれることはありません」（「地方債に関するQ&A」）と明確に述べています。形の上で市の借金になるという臨財債の矛盾は、国が地方交付税を増額して解決すべきものです。全国市長会もそのことを求めています（第82回全国市長会議決定 提言2012年6月26日）。